

劇症型溶血性レンサ球菌感染症検査結果（2022年）

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、溶血性を示すA群等のレンサ球菌によって引き起こされる感染症です。基礎疾患の有無に関わらず、突然の四肢の疼痛、腫脹、発熱などで発症し、その後急激に軟部組織壊死、急性腎不全、播種性血管内凝固症候群(DIC)、多臓器不全(MOF)を引き起こしショック状態から死亡することも多い感染症です。診断されると発生届が提出される感染症(五類全数届出疾病)で、全国的に発生件数が増加傾向でしたが、2019年をピークに減少しています。横浜市では同様の傾向が見られず、その原因は不明です。

当所では、感染症法に基づく感染症発生動向調査事業の一環として市内の医療機関から送付された劇症型溶血性レンサ球菌感染症の患者から分離された菌株についてT型別[※]、*emm* 遺伝子[※]、発赤毒素(*spe*) 遺伝子の検査をおこなっています。さらに菌株を国立感染症研究所に送付し、そこでM型別[※]、薬剤感受性試験などをおこなっています。

今回は2022年1月から12月までの1年間に、市内医療機関から保健所への届出があり、これに伴って搬入された菌株についての検査結果を報告します。

2022年は、発生届が出された27事例から分離された菌株29株が搬入されました。その起原因菌はLancefield群別のA群、B群、F群およびG群溶血性レンサ球菌であり、詳細は当所で受付された順に表に示しました。このうちA群は10事例、B群は6事例、F群は1事例、G群は10事例でした。

また、年齢別に分類すると27事例のうち、10歳未満が2事例、30代が2事例、40代が1事例、50代が3事例、60代が10事例、70代が2事例、80代が5事例、90代が2事例と、高齢者に多く発症する傾向があるものの、10歳未満にも発症がみられました。

※T型別、M型別とは、A群溶血性レンサ球菌の菌体表層に存在する蛋白の血清型別のことで、疫学調査の手段として広く用いられています。また、M蛋白は抗オプソニン作用を示し、病原因子として知られています。*emm* 遺伝子による型別はそのM蛋白遺伝子で型別する方法です。

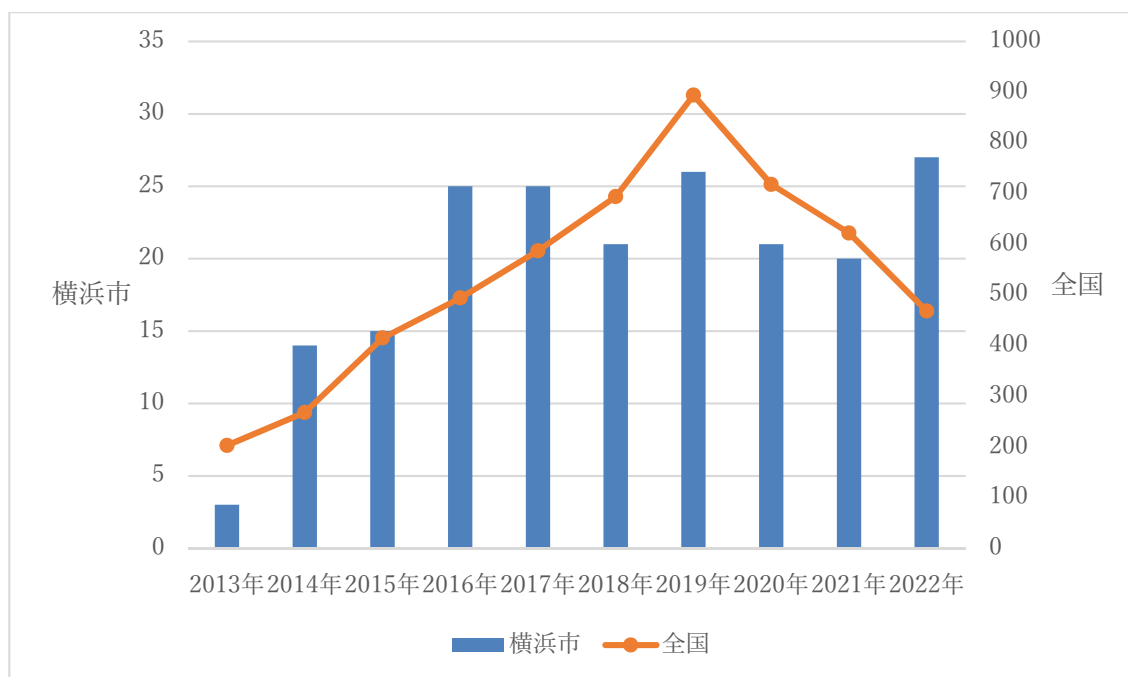


図 劇症型溶血性レンサ球菌感染症発生届出数(全国および横浜市)

国立感染症研究所感染症発生動向調査週報(IDWR)および横浜市感染症発生動向調査 全数情報から

表 2022年に発生した劇症型溶血性レンサ球菌感染症由来菌株の検査結果

受付月	年齢	性別	材料	Lancefield群別等	T型	M型	emm	発赤毒素遺伝子 (spe)
1月	60代	男	血液	A群	UT	UT	81.0	speB、speF
1月	10歳未満	男	血液	B群II型				
1月	60代	男	血液	G群 <i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>			stG653.0	
2月	60代	男	壊死軟部組織	B群I a型				
3月	50代	男	血液	A群	UT	UT	11.0	speB、spe C、speF
3月	90代	女	血液	G群 <i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>			stG840.0	
3月	70代	男	血液	A群	UT	UT	81.0	speB、speF
3月	60代	男	血液	A群	TB3264	UT	89.0	speB、spe C、speF
3月	80代	男	血液	G群 <i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>			stG840.0	
3月	60代	女	血液	A群	T28	UT	87.0	speB、speF
4月	80代	男	血液	G群 <i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>			stG2078.0	
5月	80代	男	血液	B群I b型				
5月	70代	男	血液	B群I b型				
5月	60代	男	血液	A群 <i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>			stC46.0	
5月	30代	女	血液	G群 <i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>			stG480.0	
6月	80代	男	血液	G群 <i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>			stG245.0	
6月	60代	男	血液	G群 <i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>			stG4222.3	
6月	40代	男	血液	B群I a型				
6月	10歳未満	女	血液	G群 <i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>			stC1400.0	
9月	60代	男	血液	A群	T13	UT	73.0	speB、spe C、speF

表(続き) 2022年に発生した劇症型溶血性レンサ球菌感染症由来菌株の検査結果

受付月	年齢	性別	材料	Lancefield群別等	T型	M型	emm	発赤毒素遺伝子 (spe)
9月	60代	男	血液	A群	UT	UT	49.0	speB、speF
9月	60代	男	血液 非開放膿 ① 非開放膿 ②	A群	UT	UT	49.0	speB、speF
9月	50代	女	血液	G群 <i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>			stG2078.0	
9月	50代	男	血液	B群 I a型				
10月	90代	女	血液	G群 <i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>			stG485.0	
11月	80代	男	血液	A群	UT	UT	81.0	speB、speF
11月	30代	男	血液	F群 <i>S. constellatus</i> subsp. <i>constellatus</i>				

UT：型別不能

【 微生物検査研究課 細菌担当 】